



# 「水の知」(サントリー)総括寄付講座

利き水体験・水の知検定実施中

## 『水の知』の集約・統合・発信を目指して

東京大学総括プロジェクト機構

"Wisdom of Water" (Suntory) Corporate Sponsored Research Program Organization for Interdisciplinary Research Projects

<http://www.wow.u-tokyo.ac.jp/index.html>

専門分野 : 都市水環境学、国際協力学、水文社会学

### 「水の知」とは？

What is "Wisdom of Water"?

2008年4月に水に関する研究を推進するため、東京大学とサントリーホールディングス株式会社によって設置された「水の知」寄付講座は、今年で4年目を迎えました。

「水の知」とは、科学技術のみならず、歴史や文化など、人と水との関わりあいに関する総合的な知識体系を指します。

本講座では、この「水の知」を構造化して社会に発信し、水に対する社会的な関心を高め、水問題の解決と豊かな水環境の創成を促進することを目的としています。



水の知の活動サイクル

#### 『水の知』を構造化して社会へ発信するための主な活動

##### 1. 書籍「水の知ー自然と人と社会をめぐる14の視点ー」の出版

2009年度に行われた全学自由研究ゼミナール「水で生きる」の講義内容を収録・加筆した書籍を出版しました。本書籍では、水に関連する各分野の第一線研究者・実務者の「水の知」を集約し、各分野の相互関係の体系化を目指しています。



書籍「水の知」の表紙

##### 2. 「水の知検定」の実施

「水の知検定」とは、水リテラシーの普及のため行う検定であり、水に興味を持つ市民を対象としています。水に関する問題を解き、正解と解説を知ることでの、水に関する知識の普及を目的としています。

##### 3. 「世界の水安全保障と日本の科学技術 ～「水の知」の貢献～」の運営

「水の知」に関する先達によるオムニバス講義を運営し、本学の学部生に向けて「水の知」を発信しています。



講義受講生の様子

##### 4. シンポジウムおよび講演会の実施

シンポジウムや講演会を定期的に行い、「水の知」の集約と情報発信を行っています。



シンポジウムの様子

##### 5. 東大水フォーラムセミナーや合宿の実施

学内研究連携ユニットの東大水フォーラムを利用して学内の「水の知」の集約の実現を目指しています。

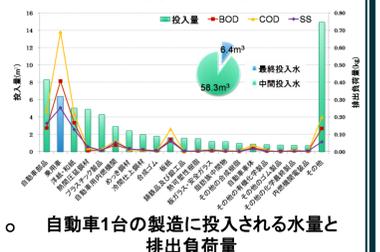


合宿の様子

#### “水問題の解決と豊かな水環境を創成する”ための研究活動

##### ＜水のライフサイクルアセスメント (LCA) 手法の構築と普及＞

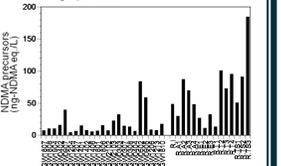
工業製品を会した工業用水の利用量について、工業用水や工業製品に関する統計データをもとに明らかにしました。また、Water Life Cycle Assessmentを行うことで、工業製品に「水」という新たな価値基準を持つことを示しました。



自動車1台の製造に投入される水量と排出負荷量

##### ＜都市水環境における汚染物質の動態解析とリスク管理＞

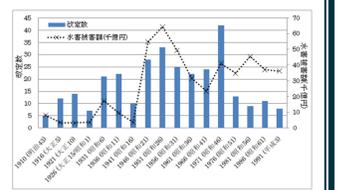
地下水や河川水の水質に関する現地観測や室内実験、モデリングを通じて、都市水環境における汚染物質の動態解析を行うとともに、それらによるリスクの評価と管理を行います。



東京近郊の河川水および地下水中NDMA前駆物質濃度

##### ＜基本高水に関する計画思想とその背景＞

日本の河川では、ある基準点におけるハイドログラフつまり基本高水をもとに、河川整備が行われています。このような手法は明治期より行われており、本研究ではその設定手法の変遷及び実際の計画内容について研究を行っています。



全水系における5年ごとの基本高水改定数と水害被害額の変遷

##### ＜水力発電の広域ネットワーク化による安全保障問題＞

南アジアやASEAN諸国では、国境を越えた発電・送電計画が推進されている。水力発電が広域ネットワーク化されることは、当該国或いは地域での「新たな資源」の開発や売買を意味する。本研究では、そのような新しい資源やその取引が、「資源の呪い(resource curse)」をもたらさないような施策や地域の安全保障に如何なる影響を与えるのか分析し、政策提言を行う。



ラオスのNam Ngum1ダム(ナム・グム1ダム)